

誠・力・光

令和2年2月18日  
練馬区立北町中学校  
学校だより 10号

## 国際的な視野を育てる

校長 中嶋 雅彦

2月7日(金)、オリンピック・パラリンピック教育の一環として、北京オリンピックに出場した坪井保菜美さんをお迎えし、「～夢・努力の大切さを知る～」というテーマでお話をいただきました。坪井さんは5歳から20歳までの15年間新体操を続け、新体操日本代表チームフェアリージャパンとして数多くの世界大会に出場しました。ワールドカップでは種目別優勝を果たしています。現在も、後輩の育成にご尽力されています。当日は、北京オリンピックの様子を映像で見せていただいただけでなく、新体操で使うリボンやロープを生徒が実際に体験することができました。また、基本的なストレッチを一緒に行い、生徒とともに体づくりの大切さを教えていただきました。国際的な視野をもつこと、目標をもって生きていく大切さ、人との協力と感謝の気持ちなど、これから生きていく生徒に大きな示唆を与えてくれました。世界を舞台に活躍する経験は、今までの苦勞、出場できた喜びが複雑に入り混じっている中でその成果を出さなければいけない難しさを坪井さんに教えてくれたそうです。

現在の子供たちは、坪井さんのようにオリンピック代表選手という特別な立場ではなくても、日本だけではないグローバルな考え方が必要です。たとえ、日本の地を離れなくても世界的な視野をもち物事を進めなければ、これからの社会的な課題や人生の壁を乗り越え解決することはできないでしょう。令和3年度から実施される新学習指導要領では、第9節外国語の「指導計画の作成と内容の取扱い」において、「生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解に応じた英語を用いるようにすること。」とあります。本校では、本年度より、新学習指導要領を見据え、英語の授業は、英語を基本として授業を進めるよう指導案作りを行っています。もちろん、生徒がその授業を理解するために必要な場合は、英語にとらわれず日本語で授業も行います。世界で活躍するには、言葉の問題は、不可欠です。学校教育では、その責任を負っています。しかし、それだけではなく、文化の違い、習慣の違いなどいろいろなことをお互い理解した上で、また、理解してもらいながら社会生活を送る必要が出てきています。

ウイルス性の病気についても、正確な情報を選択し、世界的な視点で考えることが、求められています。本校では、どの教科においても、国際的な視野に立った考え方を育てながら授業を展開していくよう心掛けています。シニア海外ボランティアを経験した方の話では、カンボジアの子どもたちは、食事など日々の生活をするために切に勉強する必要性を感じているそうです。いまの本校の生徒にとっての学校教育の重要性は何かを改めて考え、教えるべきことを次年度の計画に盛り込んでいくつもりです。

# 1年 校外学習 川越

本来は、1月31日に行われるはずだった校外学習でしたが、インフルエンザの影響で2月14日（金）に延期になりました。当日は、曇りの1日でしたが、気温は高めだったので、絶好の校外学習となりました。

各班での班行動であったため、不安もあったでしょうが達成感も得られたはずです。学校に到着したときには、ヘトヘトになっている生徒もいました。班ごとにドラマがあり、充実した1日になりました。



## 表彰



### ・バスケットボール部

1年生交流大会 男子 準優勝 優秀選手 入江 有紀  
女子 優秀選手 佐藤 若葉

冬季研修大会 男子 南ヶ丘会場 2位 優秀選手 稲木 優成  
女子 豊浜会場 2位 優秀選手 土屋 華憐

### ・連合ダンス 「勇者」 1年1組女子

### ・卓球部 研修大会 2位 津村 昌良

### ・防災標語コンクール 齋藤 廉平

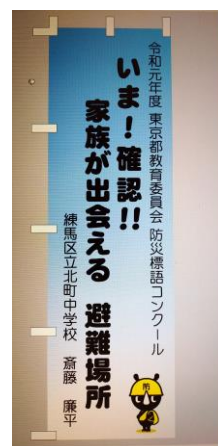
### ・朝ごはんコンクール 銅賞 大沼 その香

### ・バレーボール部 第3ブロック 冬季研修大会 第3位

・小中連合書初め展 1年 大塚 志保 小林 アリア 田口 凜莉 村上 統美  
2年 中島 柊人 加藤 衣珠 橘川 友輔 佐藤 雄大  
3年 柴田 英奈 加土 大騎 香田 麻唯加 馬渡 美羽

### ・練馬区教育委員会表彰 団体 吹奏楽部 個人 佐藤 亜美

### ・東京都教育委員会表彰 佐藤 亜美



## 今年度のまとめです

3年生は、21日（金）が都立高の入試です。義務教育9年間の力を出し切って、自分の進路を勝ち取りましょう。

26日（水）からは学年末考査です。1年間のまとめとして正面から向き合ってください。そして、進級に向け準備をしていくのも大切なことです。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われているように時が早く過ぎる時期です。この時期の取り組みで新たなスタートが始まります。